

2016年7月29日

フェリー火災事故－“心に刻む”

昨年7月31日弊社運航船「さんふらわあ だいせつ」（以下「だいせつ」）において発生した苫小牧沖での火災事故から1年が経ちます。乗船客及び荷主の皆様に対し、多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。

弊社にとり乗組員1名の貴重な人命が失われたことは痛恨の極みではありますが、今回の火災事故の教訓を踏まえて、二度とこのような重大事故を繰返さないよう、更なる安全運航の徹底とお客様に安心して頂けるサービスの向上の観点から、鋭意再発防止策を取り進めております。

具体的には、消火活動全般として、より実践的な消火プランの策定やそれに基づく消火教育・訓練の強化を行う一方、「だいせつ」においては消火栓の増設・移設、スプリンクラーノズルの配置変更、消火器類の増備等を実施致しました。他船についても入渠時に順次同様の措置を講じております。また、冷凍電源車への対策として、乗船前チェックの強化や万が一冷凍機内部から発火した場合に備えて冷凍機カバーの開放・破壊を含む有効対策を進めております。

弊社と致しましては、関係の皆様方の信頼を取り戻すべく、全社を挙げて取り組んで参ります。今後ともご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

商船三井フェリー株式会社
代表取締役社長 大江明生

本件に関するお問合せ先：商船三井フェリー株式会社
船舶部（電話） 03-6895-4004